

【鬼北町教育委員会】

校務 DX 計画

1. 校務 DX 推進体制の構築

現在はオンプレミス型の統合型校務支援システムを導入しているが、クラウド利用型の校務支援システムに更新することで、OS を選ばない環境下において校務を処理できるため、県域での校務支援システム共同調達への動向にも注視しながら、業務の効率化を検討する。

2. ペーパーレス化の推進

(1) FAX・押印の廃止

FAX での学校間及び学校と教育委員間でのやり取りは、原則廃止している。

押印については、可能なものから廃止しており、今後も不要な押印を廃止するよう働きかけていく。

(2) グループウェアの活用

全校でクラウド型のグループウェアを導入しており、グループウェアを活用することで更なるペーパーレスを図る。

(3) 会議資料の電子データ配布

職員会議や校内研修会の資料は、共有ドライブを活用して電子データでの配布としている。

(4) 学校・保護者等間における連絡手段のデジタル化

メール配信アプリケーションを保護者への連絡ツールとして活用しており、各校のホームページにおいても保護者等への情報発信を行っている。

3. 会議・研修会等のオンライン化

町教科等委員会や職務別会議の一部を、オンライン会議で実施している。

4. 不必要な手入力作業の一掃

校務支援システムへの名簿情報の入力については、導入当初から教育委員会から学校へデータで提供しており、今後も継続していく。